

会議記録（要点筆記）																																											
委員会名		秦野市子ども・子育て会議(令和元年度第1回)																																									
日時	令和元年5月20日(月) 14:30~16:00	場所	秦野市役所本庁舎3階 3A会議室																																								
出席者	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">[委員氏名]</td> <td style="text-align: center;">[所属団体等]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林 正稔</td> <td>:</td> <td>神奈川県立保健福祉大学教授(会長)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小林 徳博</td> <td>:</td> <td>元・二宮町教育委員、元・小学校長(副会長)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大澤 一之</td> <td>:</td> <td>民間幼稚園長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈴木 歩</td> <td>:</td> <td>秦野市民間保育園主任の会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>草山 充</td> <td>:</td> <td>秦野市私立保育園園長会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>串田 祐基</td> <td>:</td> <td>地域型保育事業者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>清水 幸代</td> <td>:</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈴木 泉</td> <td>:</td> <td>神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>矢野 博子</td> <td>:</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]			小林 正稔	:	神奈川県立保健福祉大学教授(会長)		小林 徳博	:	元・二宮町教育委員、元・小学校長(副会長)		大澤 一之	:	民間幼稚園長		鈴木 歩	:	秦野市民間保育園主任の会		草山 充	:	秦野市私立保育園園長会		串田 祐基	:	地域型保育事業者		清水 幸代	:	市民委員		鈴木 泉	:	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長		矢野 博子	:	市民委員	
[委員氏名]	[所属団体等]																																										
小林 正稔	:	神奈川県立保健福祉大学教授(会長)																																									
小林 徳博	:	元・二宮町教育委員、元・小学校長(副会長)																																									
大澤 一之	:	民間幼稚園長																																									
鈴木 歩	:	秦野市民間保育園主任の会																																									
草山 充	:	秦野市私立保育園園長会																																									
串田 祐基	:	地域型保育事業者																																									
清水 幸代	:	市民委員																																									
鈴木 泉	:	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長																																									
矢野 博子	:	市民委員																																									
欠席者	<table border="0"> <tr> <td style="text-align: center;">[委員氏名]</td> <td style="text-align: center;">[所属団体等]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐々木 陽一</td> <td>:</td> <td>株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内藤 剛彦</td> <td>:</td> <td>秦野伊勢原医師会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>府川 優樹</td> <td>:</td> <td>秦野市学童保育連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>吉田 信貴</td> <td>:</td> <td>秦野市PTA連絡協議会</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]			佐々木 陽一	:	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント		内藤 剛彦	:	秦野伊勢原医師会		府川 優樹	:	秦野市学童保育連絡協議会		吉田 信貴	:	秦野市PTA連絡協議会																					
[委員氏名]	[所属団体等]																																										
佐々木 陽一	:	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント																																									
内藤 剛彦	:	秦野伊勢原医師会																																									
府川 優樹	:	秦野市学童保育連絡協議会																																									
吉田 信貴	:	秦野市PTA連絡協議会																																									
[事務局] こども健康部 子育て総務課長 保育こども園課長 保育こども園課課長代理 こども家庭支援課長 こども育成課長 こども育成課課長代理 教育部 教育総務課主査 [その他] こども健康部長		[庶務担当(こども健康部子育て総務課)] 課長代理 主任主事																																									

議事内容	1 開 会 2 新任委員紹介・事務局紹介 3 会長あいさつ 4 議 事 (1) 第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画策定について (2) 報告案件 ア 幼児教育の無償化について イ 特定教育・保育施設の利用定員について (3) その他 5 閉 会
配付資料	次第 委員名簿 資料1：第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画策定について 資料2：第2期市町村子ども・子育て支援事業計画等の作成に当たっての留意事項 資料3：幼児教育無償化について 資料4：特定教育・保育施設の利用定員について

[1 開会]

○事務局

（13名の委員のうち9名の出席があったため、秦野市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告）

[2 新任委員紹介・事務局紹介]

[3 会長あいさつ]

[4 議事]

(1) 第2期秦野市子ども・子育て支援事業計画策定について

○事務局

（「資料1及び資料2」に基づいて説明）

○会長

教育・保育の提供区域の設定については、本日決定したいということでしたが、委員の皆さんを意見をお願いしたい。

○委員

小規模保育施設については、やはり市内全域からの利用が見込まれるので、引き続き1区域の設定でお願いしたい。

○委員

事業者から保育園新設の希望があれば、需給調整を避けたい、どんどん作らせたいということなのか。

○事務局

複数区域に分けて設定した場合、その各区域で待機児童が発生すると、各区域に施設を作らなければならないということになってしまいます。対象となる未就学児が減少していく中で今後施設を増やしていくというのは難しいと思いますので、市内を1区域とする中で調整していきたいと考えています。

○委員

1区域でと考えた時に、需要と供給のバランスを考えていかなければならない。そうでないと実質的に利用者の希望に合わなくなってしまう。利用者の希望とマッチするような方法を考える必要がある。

○会長

認可権者は神奈川県であるが、市が責任を持って、市全体として見ていく中で1区域のほうが指導しやすいということであればよいのではないかと。ただし、市が積極的に整備の指導に関わっていく必要がある。

○委員

区域設定も子どもたちの成長を高めるために、保育・教育を充実するために1区域で行っていくということであればよいと思う。

○会長

区域については、1区域でやっているのは子育て事業だけで、他の事業はコミュニティ単位で区域設定をしている。これには意味があり、人口が減っていく中で子どもが育つというのは、その地域だけで考えればいいことなのかという発想があって、地域だけに任せるのではなく、市が責任を持ってやっていくという気持ちを持つ必要があるからである。子育てを安心してできる街が一番発展していく街であると言える。

○委員

利用者側とすると自分の家の近くの保育園に入れるほうがメリットではあるが、全体のことを考えると1区域でもよいと思う。ただし、できるだけ利用者のニーズに対応できるようにしてほしい。

○会長

秦野市は小田急線、国道246号があり、動線を考えると、1区域でも問題ないと思う。

○委員

車がないと不便であったという経験はあるが、秦野市の特性を考えるとこのまま一つでもよいのかなど考える。

○委員

前回の理由から大きく変わったところがなく、現状でも同じような課題があるということであれば変える必要はないと考える。また、1区域のほうが柔軟な対応が

とれると考える。

○委員

定員割れや園ごとに差が出てしまっている現状はあるが、市で保育園が均等に運営できるようにしているので、1区域でも問題ないとする。

○会長

駅前や四つ角付近のマンションの整備計画などはどうか。

○事務局

広い空地であって、活用方法が未定なところはあるが、知り得る中で大きな影響があると考えられるものは今のところありません。

○会長

多少秦野駅周辺で戸数が増えても現状で対応できるということか。

○事務局

その見込みです。

○会長

まとめると、区域の設定については、現行どおり1区域を進めてもらうということとする。

(2) 報告案件

ア 幼児教育無償化について

○事務局

（「資料3」に基づいて説明）

○委員

無償化がスタートすると秦野市の状況はどう変わると考えているか。計画の量の見込みにも影響があると思うが。

○事務局

無償化によって3歳の利用者が増えると想定しています。また、全体的に見ても無償であるならば、施設を利用したいという需要が少なからず増えると考えています。

人口は減少していくが、保育所等の利用率が低下するわけではないので、その分岐点を見定めて需給のバランスをとっていくことが重要と考えています。

○会長

認可外施設等は届出された施設のみが対象となるので、保護者が誤解しないような注意が必要と考える。また、保育料以外にもお金がかかるので、誤解によるトラブルが心配である。

全体の人口推計を考えると保育所等の利用はもうすぐピークを迎え、無償化になったことでそこまで女性の就労が増えるかを考えると、そんなに大きな混乱はない

と考えている。ニーズ調査の結果を見ても、秦野の方は家庭で子どもを見ていく、さらに夫婦2人で見ていくという意識が高いようである。

○委員

心配なのはすべてが無料になるわけではないということである。保育料以外の部分は施設によってもばらつきがある。保護者がよく理解していない場合があるので市や県がしっかり説明してほしい。

○会長

保育料は無償になるが、そのほかにプラスアルファでお金を払わせることが横行するとよくないので、市がしっかりと指導監督しないといけない。

保育料が無償になったからといって、子どもの貧困が改善するものではない。例えば、授業料のほかにプラスでお金を払うことで、特別な教育を受けられるなら払える家は受けられるが、払えない家は受けられないという格差が生まれる可能性のある制度である。

イ 特定教育・保育施設の利用定員について

○事務局

（「資料4」に基づいて説明）

○委員

定員減は子ども・子育て会議での意見を聞く必要はないと思うが。

○事務局

そのとおりです。報告案件になります。

○委員

5年前とは状況が変わっている。現行計画の中間見直しにおいて、かい離があったものについても一度現在の数字を整理してほしい。

今年の4月の時点で保育所の入所率が95パーセント程度で定員割れしていると認識しており、提供体制は整備できたと考える。これからは、提供体制をどうしていくのか、施設の力や地域の力、その他のサービスを充実させていく、そういう提供体制が大事だと考える。そういう施策を是非お願いしたい。

○事務局

単なる事務的な数合わせではなくで、状況に合った方向性を考えていきたいと考えています。

○会長

なにかあった時に預かってもらえるところが欲しい、必要な時に必要な量だけ提供して欲しいというニーズが強いと感じた。行政は苦手な分野であるし、保護者のわがままかもしれないが、苦手なところだからこそ活路を見い出してほしい。行政の中で対応できる方法を考えていくとよいのではないか。利用率が低いところとニ

ーズが高いところをうまく組み合わせていくなど、ぜひ積極的に検討してほしい。

○委員

ニーズ調査で子育て環境に関する満足度は「ふつう」が最も多く満足と不満足半々である。これはやってないのと同じである。

○会長

秦野市はせっかくいいことをたくさんやっているのに、これこそ秦野という、突出したものがないので、こういう結果になったのではないか。もっとアピールしていけばよいのではないか。

○事務局

このアンケート結果をしっかりと分析していきたいと思います。

(3) その他

○事務局

次回の会議は7月の開催を予定しております。日程が決まり次第ご連絡いたします。

[5 閉会]